

## 平成24年度 第4回府中市地域密着型サービス指定関係部会会議録

1 日時 平成24年11月15日(木)  
午前10時から午前11時まで

2 会場 市役所北庁舎3階 第3会議室

3 出席者 (委員)  
鈴木部会長、田中副部会長、田口委員、近藤委員

(事務局)

峯尾地域支援統括担当主幹兼施設担当主幹、山田高齢者支援課長補佐兼介護保険担当副主幹、高野施設担当主査、田中事業者指導係長、内田事務職員、佐藤事務職員、入口事務職員

### 4 議事内容

(1) 指定地域密着型サービス事業所・指定介護予防地域密着型サービス事業所の指定申請について

ア 事務局より、指定地域密着型サービス事業者・指定介護予防地域密着型サービス事業所の指定申請について資料1-1、資料1-2、資料1-3、資料1-4及び参考資料に基づき説明があり、了承。

イ 質疑応答、意見等

意見 8人で常勤換算7.0となっており、常勤職員が多い。

(鈴木部会長)

問 1 八王子と三鷹でもグループホームを運営しているとのことだが、視察には行ったのか。

答 1 三鷹のグループホームの運営状況を確認した。三鷹のグループホームは、平成24年3月に開設し、満室ではないが、1階のユニットは、満室となっている。

ぐる一ふほ一む白糸台に関して、当該事業所は、1階ユニットが、12月に4名、1月末に7名入居し、2月に満室となる。そして、2階ユニットが、2月に2名入居し、4月に満室となると予測している。

問 2 協力医療機関が、日野市の医療機関であるが、遠いのではないか。

答 2 できるだけ、府中市内の医療機関と提携してもらおうようお願いしている。  
(事務局) 提携している日野市の医療機関は、八王子のグループホームとも提携しているため、距離の問題はあるが、連携体制はしっかりとれているので

はないか。

意見 整備されていない第1地区での開設とのことで、いいのではないか。

(田口委員)

意見 大手住宅メーカーが建設しており、基準も満たしているので、いいのではないか。

(近藤委員)

問 3 開設事業者が、株式会社であり、営利目的になることが懸念されるが、いかがか。

答 3 当該事業者は、八王子でグループホームを開設する際に、立ち上げた事業所であり、ぐるーぷほーむ白糸台を開設し、グループホームの開設は終了とするようである。

意見 グループホーム未整備地区であり、事業所のシュミレーション通り順調に進むのではないか。

(近藤委員)

(事務局) 府中市内の既存のグループホームは、常に満室の状況であり、待機者もいる。

問 4 生活保護受給者の受け入れを行うのか。

答 4 家賃設定が7万円であり、生活保護受給者を対象としていない。

(事務局)

問 5 認知症が悪化した場合の医療的なケア等の対応はどうなるのか。

答 5 協力医療機関での対応となる。家族での対応とはなるが、入居者の主治医を受診することも可能である。また、入院等で一時的に退居する入居者もいるようだ。

(事務局)

問 6 一時退居の場合、家賃を支払っておき、退院した際に戻ってくることはできるのか。

答 6 できる。

(事務局)

問 7 今まで、府中市内のグループホームで看取りが行われたことはあるのか。

答 7 1件確認している。

(事務局)

問 8 グループホームでの生活が困難になり退居になった場合、府中市に報告はあるのか。

答 8 毎月末に、府中市内のグループホームの入退居状況の確認を行っている。更に、退居要因を明記した詳しい様式で、入退居状況を提出してもらい、四半期に一度、東京都に報告している。

(事務局)

## (2) その他

ア 事務局より、地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準の市条例化について、これまでの事業者の指定状況及びに運営状況から、国の基準通りとし、独自基準を設けない方針であり、3月の議会に諮る旨、説明。

※ 地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準の市条例化に関し

て、市町村の担当課長会議で議題にあがった。独自基準を設けることを予定しているのは5、6市であった。他県の状況としては、記録の整備と防災の強化において、独自基準を設けるようであるとの補足説明あり。

以上